

4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)	良くなる	百貨店（販売促進担当）	・株価が11,000円を超える等、先行きに関してはかなり良い材料があると思っている。
		スーパー（店長）	・昨年、競合店が2店舗できてから約1年になる。今年は巳年ということもあり、復活再生の年となる意味では、当然、昨年の最低値から、3か月後は何としても目標、粗利、全て達成となるのではないかとと思っている。
		コンビニ（経営者）	・12月は非常に来客数が多い月である。1月は非常に落ち込むが、また2月も若干良くなり、3月は良くなるだろう。
		乗用車販売店（販売担当）	・政権が交代し、設備投資をすると前向きな話が出ているため、業界全体が景気が良くなり、相当売上が上がるのではないかと判断している。当然、当社としても一連の様々な会議や懇親会のなかで、そういった情報が出てきたため、今後については大きく伸びるといった期待感を持っている。
		その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	・ムードが非常に良くなっている。
		一般レストラン（経営者）	・今月は正月休みで約5日間休んだことと、ケータリングがなかったため、売上は最低である。今が一番悪いため、2、3か月先は、今よりは絶対に良くなると思う。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・政治がどのような動きをするかによるが、大きな変更がなく、このまま進めば、更に良くなると思う。
		商店街（代表者）	・政府の景気浮揚策が功を奏して、一般家庭や企業が固く締めてきた財布のひもを幾ばくか緩めてくるのを期待するばかりである。
		商店街（代表者）	・最近、金などの相場が多少良くなっているため、当商店街では貴金属を扱う店に、わずかだが客が来ているようである。そういう点からみても、景気が少しずつ良くなっていくのではないかと。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新政権になり、消費ムードが良くなっているような気がする。期待をしている。
		百貨店（広報担当）	・しばらくは新政権による金融緩和策に対する期待感から、円安、株高傾向が続くものと考えられる。その効果で短期的には顧客心理も上向くと思う。ただし、その先を見ると夏の参議院選挙や来年に控えている消費税増税など景気への不確定要因も多く、抜本的な景気回復、デフレ脱却となるかはまだまだ不透明である。
		百貨店（営業担当）	・新政権が矢継ぎ早に施策を出してきており、消費者心理も上向くと思う。
		百貨店（管理担当）	・新政権による経済再生とデフレ脱却への期待感で、やや良くなる。
		百貨店（営業企画担当）	・政権交代に伴う経済効果で良くなると予測できることと、当店の40周年の施策を盛り込んで計画しているためである。
		百貨店（店長）	・政治への期待感が強いのではないかと。
		スーパー（店長）	・年度も替わり、今後に対しての期待感もあるのか、消費者の意識も後押しされて、良い方向に向いていくと思う。
		スーパー（営業担当）	・このまま円安株高基調が固定化すれば、国内の景気も若干活性化してくると思うし、またそう期待したい。
		スーパー（ネット宅配担当）	・景気の上向き傾向が続くことが予想され、消費マインドの高まりも期待される。
		コンビニ（経営者）	・季節的な要因だが、これから暖かくなり、また暑くなってくると、今よりは良くなるだろう。
		コンビニ（エリア担当）	・円安、株価上昇により少しずつ景気は好転するのではないかと。一方でたばこを購入する客はダウントレンドであり、一概に良くなるというよりは、やや良くなる程度と判断している。
コンビニ（店長）	・長く低迷をしていたが、ここにきて消費動向が少し上がっていく傾向が、日々の客の様子から期待できる。		
コンビニ（商品開発担当）	・あくまでもアベノミクス効果による期待である。		
衣料品専門店（店長）	・市場で客数が動けば、あとは単価だけの問題である。客数が上がって市場が活発化されることを期待している。		
家電量販店（統括）	・春商戦に向けて、シングル向け家電の需要増加で若干の伸びを期待する。また、金融政策、財政政策に期待するが、実感は下期以降ではないだろうか。		
家電量販店（営業統括）	・新社会人、新入学などの新生活ニーズによって購入点数、単価共に上昇していく。花見シーズンになり、中国や東南アジアからの外国人観光客が昨年より増加すると予想しているため、更に客単価を引き上げる効果がある。		
乗用車販売店（経営者）	・政権交代以降は円高に歯止めが掛かり株価も上昇して、明るい兆しが見える。販売量や来客数も増えてきている。		

乗用車販売店（店長）	・政権が交代し、円安、株高が進み、周りも今年度は景気が良くなるという形で動いている。我々営業部隊もその気持ちで今動いている。良くなると思う。
乗用車販売店（販売担当）	・年が明けてから客の動きが活発になってきており、商談件数も増えている。特に、今まで同様、低燃費の車両を中心に、エコカー減税があるうちに購入しようというユーザーが多い。また今後、消費税の動向を見据えて伸びると思うため、やや良くなる。
乗用車販売店（営業担当）	・消費税と取得税の絡みからなのか商談が増えている。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新政権の経済政策により、今のところ経済の上昇期待が世間に渦巻いていると思う。最終消費者の実際の懐具合、収入が増えるのかということが非常に気になるが、この政策に期待したい。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・政権交代と世論の後押しが景気回復感のマインド向上を促し、財布のひもが緩くなっているような気がする。
その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・政府の政策がうまく機能したら少しは良くなるのではないかと。
高級レストラン（店長）	・客との会話のなかで、今後の景気に対する高揚感、期待感が感じられる。
一般レストラン（経営者）	・同業の新規参入は20～30代の経営者が多く、周りにやや活気が戻っている。
一般レストラン（経営者）	・アベノミクスの影響かもしれないが、建築や土木関係を中心に景気が良くなるのではないかと期待感が高まっている。当社の店舗別でも、住宅街より繁華街のほうが、むしろ売上が伸びている傾向があり、今後少し期待できる状況になってきている。
旅行代理店（従業員）	・年明けから国内団体旅行の問い合わせや申込が増えてきている。見積依頼も1～2割増しになってきている。
旅行代理店（支店長）	・2、3か月後は年度末並びに4月の新年度に入る。旅行業界としては、春休みなど良い材料もあり、今よりは良くなると思う。その理由としては、やはり気候が良くなり、政権交代で徐々に景気が上向き感じが少し見えるため、旅行への熱も回復すると思う。また、卒業旅行なども例年に比べ、出足が早い。
タクシー運転手	・まだまだ寒い日が続く、短い距離でも手荷物があれば家の前、駅までとタクシーを利用する人も多く、この先、雪や路面凍結の恐れもあり、利用を見込める。
タクシー運転手	・政府がデフレ克服に向けて動き出したが、末端であるタクシー業界に実感として伝わってくるのは先の話である。しかし、良くなっていく空気は流れている。
通信会社（経営者）	・政権交代への期待感のため、やや良くなる。
通信会社（経営者）	・円安により株価が上がってきたため、実質的には体感できないが、今までのような沈鬱な状況からやや明るい兆しが見えてきている。
通信会社（営業担当）	・政府の景気対策の話題がマスコミで報じられ、数か月後には景気が上向きという期待感を持っている人が多いように感じる。
通信会社（営業担当）	・各社キャンペーンにて需要喚起を行っており、契約数もそれに応えて上がる傾向が続くと思う。
通信会社（局長）	・内需型産業のため、人の生活環境が変わる3～5月は改善すると期待している。人が動くことで生じる消費活動の増加が見込める。
通信会社（局長）	・2月後半から不動産関連が繁忙期に入る。転居のついでにタブレットを購入してインターネットへの加入意欲が増すことが考えられるため、一定の購買増加が見込める。
通信会社（管理担当）	・政権交代による景気回復策が実現し、公約どおり進めば、旧政権時代より良くなると思う。
ゴルフ場（支配人）	・2、3か月先に、前年同時期を超えた来場予約が入っている。
パチンコ店（経営者）	・消費税が先々増税されるが、同時に今株価も大分上がってきており、景気が良くなってきている流れを感じる。プラス面マイナス面いろいろあるが、期待も込めて景気はやや良くなるのではないかと。
その他レジャー施設〔スポーツ施設〕（支配人）	・ファミリー向けの施策を行ったところ、反応が非常に良く、来場人数が前年実績を上回った。付帯施設での消費単価も上がっており、景気が上向いているように感じる。
その他レジャー施設〔アミューズメント〕（店長）	・客単価の安定に伴い、集客増の望める春先に掛けて売上増が望める。

	その他レジャー施設 (経営企画担当)	・催事の予約状況や前売券の販売状況が堅調に推移している。
	美容室 (経営者)	・政権が交代して良くなるのではないかとということで、皆の財布のひもが緩くなってきたのではないかと。
	その他サービス [保険 代理店] (経営者)	・余程のマイナス要因がない限り、売上は増加しそうである。顧客の様子から新たな商品を購入する意欲が感じ取れ、実際に今月末から2月初めに掛けて予約のある商品もある。差し当たり3月末までは前年比増で推移すると考えている。
	その他サービス [立体 駐車場] (経営者)	・良いムードになっているような報道をテレビなどで始めたため、やや良くなる。
	設計事務所 (経営者)	・民間のビルの耐震化について、現在、一生懸命PRしており、耐震化について質問が大変多くなっている。これから耐震診断や補強などといった仕事が多量にとも出てきそうである。行政の仕事も4月度から新しい指名が入ってくるため、これから徐々に良くなっていく感じがする。民間の仕事にも積極的にチャレンジしていくつもりである。
	設計事務所 (所長)	・今のところ良くなる要素は見当たらないが、政権交代に期待し良くなることを信じて、やや良くなる。
	住宅販売会社 (従業員)	・いろいろな税制や制度が、はっきりし始めてきているためである。
	住宅販売会社 (従業員)	・1月は稼働日が少ないが、客も動いており今後3か月の販売量は増えてくると思う。それに伴って在庫をしっかりと仕入ないと売れ時期を逃してしまう可能性があるため、それが課題である。
	住宅販売会社 (従業員)	・住宅の建て替えは一時取得とは違い底堅い需要があるのだが、大手ハウスメーカーでは価格が高いということで、当社のような地元の建築会社に依頼が増えている。消費税増税前の駆け込み需要も少しあると思うが、当社のような地域密着型で実績のある建築会社への依頼が増えてくると思う。
	住宅販売会社 (従業員)	・来場数は、継続的に前年同月より増えている。
変わらない	商店街 (代表者)	・昨年の暮れに新政権になり、テレビでは総理の発言がかなり良い方向に作用しているということである。しかし、我々、中小企業が多少なりとも恩恵を受けられるのはまだまだ先の話で、現状では今一つ物が思うようには売れず、今後もしばらく続くと考えている。
	商店街 (代表者)	・今年のように天候が不順で、寒く、雪や雨が降ったりすると、高齢者の出足が非常に悪くなる。今の当商店街では、高齢者が動かなければ売上が落ち込んでしまい、大変な問題になる。少し暖かくなってもらわないと困る。
	商店街 (代表者)	・半年後くらいには良くなっていくとの希望を持っている。
	一般小売店 [和菓子] (経営者)	・政権が交代して株価などが上がり、景気は上向きのように感じるが、原材料などの値上がりもあり、単価の見直しなども考えていかなければならない。そのため、今後、客数の減少に歯止めが掛からないのではないかと。
	一般小売店 [家電] (経理担当)	・以前よりは良くなってきているようだが、急には変わらないのではないかと。ただし、新年度で異動の時期でもあるため、ある程度は期待している。
	一般小売店 [家電] (経理担当)	・商店街全体の客数も減少傾向にあり、主力の販売商品もないためである。
	一般小売店 [祭用品] (経営者)	・暖かくなり、活発化することを期待する。
	一般小売店 [家具] (経営者)	・総理大臣が変わり、世の中のムードは非常に良くなってきていると思うが、実際、これから客が増えるかという点、やはり今までとあまり変わらないのではないかと。
	一般小売店 [文房具] (経営者)	・業種が業種なため、これといって爆発的に売れるようなものではなく、入学時期の4月頃までは淡々とした売上ではないかと考えている。
	一般小売店 [印章] (経営者)	・政権が交代して、プラス思考で考えたいが、即、我々がその恩恵を受けるのは非常に難しい感じがする。当分耐えて、動きを見守りたい。
	一般小売店 [文具] (販売企画担当)	・当社は大きな企業から個人客まで文房具を売っている。企業関係は徐々に景気が良くなってきている感じはあるが、個人客はまだそういった感はなく、むしろ財布のひもは相当固くなってきている。この矛盾が解消されない限り、なかなか景気は良くならないのではないかと。
	百貨店 (売場主任)	・円安、株高の動きが今後続くのであれば、多少消費が上向きになりそうだが、それ以外の景気上昇の話題がない。

百貨店（総務担当）	・厳しい状況は変わらない。ただし、少しでも消費が増える気配があれば、美術、宝石など高額商品についても機会を逸することがないように準備しなければならないと考えている。しかし、基本は生活必需品である食料品をおろそかにしないようにし、デイリーの売上確保に努める。
百貨店（総務担当）	・金利上昇を危惧する声が多い。
百貨店（総務担当）	・政権が交代して、一般的にはかなり景気が上向いていくのではないかという予想もされているが、一般消費者の購買意欲が実際に高まるのは、3か月ではまだ顕著な動きにはならず、早くても1年後くらい先になるのではないか。そのため、今の変わらない状況はこの1年間続き、実際に数字に表れてくるのはまだ先ではないかと思う。
百貨店（営業担当）	・婦人服、紳士服、子ども服の衣料品については、気温が例年より低い割には動きが悪い。食品及び家庭用品、寝具等も同様である。政権交代による円安、株高の個人消費への好影響はまだ先のようなのである。
百貨店（営業担当）	・政権交代により、期待値から株価も上昇し、景況感の良い方向であるとされているが、家計の実態として現われるのはこれからといった感がある。確かに高額品については動きが出てきているが、全体のシェアとしては低く、インパクトは少ない。今後、平均賃金の上昇により、これからの増税感が少しでも薄まれば期待が持てるが、2～3か月先の景気については、まだ先は見えない。
百貨店（経営企画担当）	・円安、株高など環境は良くなりつつあるが、小売業で個人消費が動き出すのは当分先である。
百貨店（副店長）	・円安、株高を背景とした景気上昇に期待はあるものの、賃金の上昇実現の不透明さ、選択消費の日常化のなかで、身の回り品に回するにはタイムラグがある。
百貨店（販売管理担当）	・株価の上昇などポジティブな要因はあるものの、一部の高所得者層が恩恵を受けるだけで、多くの中間所得者層は実感がなく、現在の消費環境と比べて大きな変化はない。
スーパー（経営者）	・12月に新政権になってから少し上向き加減であったが、その勢いがこれからも続くのだろうかと思っていたところ、1月は元に戻った感じである。世間的には景気は結構上向いている感じがしているが、実際の売上はそれほど上がっていない。競合店の影響が大きく、そのため、2、3か月はまた同様に良くない状態が続く。
スーパー（店長）	・節約疲れや、回復基調ということもあり、また現政権への期待もあって、景気が更に良くなると考えられるが、現在の税制改革等の不安要素もあり、現状と大きく変わらない。
スーパー（店員）	・現在、株価上昇や円安傾向が続いており、雰囲気、気分的には景気上昇の兆しが見られるが、実際の小売のレベルでは、まだ低単価、価値のある物、買い得感のある物が支持されるのが現状である。景気が上向きになっても小売業界では利益や売上の確保は、現在と変わらず厳しい状況が続く。
スーパー（総務担当）	・総合小売業である当店のような頻度性の高い販売については、円安が進んだ、株価が上がったといっても、最終的には消費の力が上がってこない、なかなか数字には反映されない。可処分所得が増大することがまだ考えられないため、今の厳しい底をついた横ばいの状況が続くと考える。
スーパー（仕入担当）	・顧客は当社のようなスーパーマーケットで食品を購入する以外に、コンビニやドラッグストア等買い回りをしている。そのため、来店頻度が減り、客数減少は続く。
コンビニ（経営者）	・セール頼りの傾向が今後も続き、単価の下落も止まらず、売上、利益共に改善の兆しがない。
コンビニ（経営者）	・全体的には、前年を下回る98%程度である。不安な要素もあるため、変わらない。
コンビニ（経営者）	・店の周りの状況が変わらないためである。
コンビニ（商品開発担当）	・客が必要以上来店しなくなっており、来客数の改善に期待ができない。
衣料品専門店（経営者）	・新政権になり景気対策に力を入れているが、その反面、消費税増税などの不安材料が多く、国民は信頼に乏しく様子見の状態、積極的に買物をする客が少ない。しばらくこの状態が続くと思う。
衣料品専門店（経営者）	・円安、株価上昇で雰囲気は良くなってきているが、2、3か月で消費が上昇するものでもなく、その先に消費税増税が控えているため、現状と大きく変わらない。

衣料品専門店（経営者）	・例年2～4月は入学関連の売上が非常に大きい。年々、この世代の親、40才前後の財布のひもが固くなり、制服、体操着などリサイクルで血眼になって情報交換をして探している。生徒数も減少しており、年を追うごとに学校関連は落ちている。学校関連の売上は大きいだけに年々厳しくなっている。
衣料品専門店（経営者）	・実際は、変わらないというより、分からないといったほうが適当である。今、アベノミクス等で言われているとおり、円は安くなり株価は上がっているが、実態経済の様子がまだよく分からない。また、円安になったため、燃料費等が上がってくる。その影響で顧客にどのような反応があるかがまだ分からない。
衣料品専門店（経営者）	・このままの寒さが続くと、梅春物や春物の動きが前年同様に悪くなりそうである。当店をはじめ、商店街全体でも売るための仕掛けやきっかけ作りがなかなか難しい。
衣料品専門店（営業担当）	・政権が変わり景気浮揚策も出ているが、なかなか定まっていけないようである。
家電量販店（店員）	・現時点では政権交代など市場の動向において客の様子は変わりなく、景気は横一線の状態である。現状のままで変わらないまま右肩下がり傾向になり、今の状態と変わらない。
乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備と販売をやっている。整備は順調に入っているが、販売はあまり芳しくない。来年から消費税増税になるため、今年の7月以降は駆け込み需要があるのではないかと。
乗用車販売店（経営者）	・年初より客の動きが良いが、これ以上は難しいと思う。何がきっかけになっているの分からない。
乗用車販売店（総務担当）	・デフレ脱却感は何となく感じるが、まだまだ景気回復感が押し寄せてこない。全体的な消費の拡大がないと、自動車購入への消費にはつながっていかない。政府として、思い切った景気回復拡大策を打ってほしい。
住関連専門店（店長）	・政府の景気対策も、すぐには効果がでないと思う。
その他小売〔ゲーム〕 （開発戦略担当）	・厳しい状況が続くと考える。
一般レストラン（経営者）	・新政権になり1か月余りが経ち、円安になり株価も上がり期待をしているが、今月も前年を大きく下回っている。天候のせいもあるが、まだまだ実感としては景気は良くない。
一般レストラン（経営者）	・政権交代によりインフレになりそうな気配があり、少しは良くなりそうな空気は感じるが、我々のサービス業等に影響してくるのはまだ先だと思う。2、3か月先もあまり変わらない。
一般レストラン（店長）	・当店の周りは一部上場企業ばかりなのだが、皆、口々に変わらないだろうと言っている。恐らくこの先も変わらないと思う。
都市型ホテル（スタッフ）	・政府の経済政策が、そんなに早く实体经济に反映してくるとは思えない。
都市型ホテル（スタッフ）	・先々の予約の動きが鈍く、傾向としては直近になり動き出すパターンがここ何か月も続いているが、大幅な動きは見られない。当月内の動きは極端に落ち込んでいる。
都市型ホテル（スタッフ）	・宴会関係は前年とほぼ同様の予約人数を抱えており、婚礼も前年を若干オーバーする人数の予約を受けている。宿泊は周辺での大型イベントが前年並みに予定されており、現在の予約は前年より少ないが、今後個人客の予約が伸びてくると予想している。レストランは夜の接待利用がどれだけ回復するかであるが、平日の昼利用の女性客向けのメニューに更に工夫を重ね、土日、祝日の個人利用を取り込めば、前年と大きく変わらない。
旅行代理店（経営者）	・今の状況から脱出するのは、なかなか難しいような気がする。新政権に関しても、皆、それほど期待していない感じがする。何となく情緒不安定な世の中であるような気がする。
旅行代理店（従業員）	・景気上向きのプラス材料はあるものの、円安傾向により海外旅行が控えられることが予想される。
タクシー運転手	・確かに円安、株高ということで、一見景気が良いように見えるが、なかなか軌道に乗らないというのが現状ではないかと思う。難しい局面にきているのではないかと。
タクシー運転手	・今は経済の動向があまり読めないこともあり、また、3月の年度末に向けて、様子見をしている状態だと思う。
タクシー（団体役員）	・政権交代後、初の通常国会が開催され、補正予算や年度予算の審議も活発に行われると思うが、2、3か月後すぐに景気が良くなるわけではなく、厳しい現状のままで変わらない。
通信会社（経営者）	・景気は良くなるムードだが、受注環境は当面厳しさが続くと思う。

通信会社（社員）	・例年、年度末は加入増が見込め、今年も見込みどおりだと思ふ。現状から大きく増減する理由もなく、変化はない。	
通信会社（営業担当）	・消費税増税が現実として近づいてくることによる先行きの不透明感ばかりが感じられ、消費の増加を想像することが難しい。	
通信会社（営業担当）	・競合他社の低価格戦略の影響が顕著で、回復の兆しが見えていない。	
ゴルフ場（従業員）	・長い間、悪くなると回答してきたが、前回から期待を込めて変わらないとした。良くなると回答できる日を待ち望んでいる。	
その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・2、3か月前と比べて生徒数の増減はなく、年度替わりではあるが、今後も増える傾向にはない。広告を出しているが、あまり反響もないため、景気は変わらない。	
その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	・財政出動を行うという新政権の話によって、一般的には将来の景気について上向きに推移するのではないかと考えるが、現実を見ると、車の売行きはハイブリッドなど燃料節約型の車しか売れず、全体の売行きが伸びているということではない。そのため、景気はそれほど大きく上にも下にもいかないのではないかと。	
設計事務所（所長）	・単なるコンサルタント業務のみで、新しい物件の情報が見当たらず、現状のままが続くのではないかと。	
設計事務所（職員）	・消費税増税前の今年8月末までの工事契約に向けた動きがある一方で、建設単価の上昇による影響が顕著に現れたケースも多く、建築案件数など全体としては横ばい傾向になるのではないかと。	
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税による駆け込み需要は増えると思うが、売上にはまだまだ反映されないため、景気状況は横ばいである。	
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税の負担を軽減するため、住宅ローン減税の拡充が議論されているが、その効果はまだ分からない。	
その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・政権交代後、建材関係の客を中心に今後の景気に期待する声が開かれるが、今のところ具体的なものが見えていない。	
やや悪くなる	一般小売店〔茶〕（経営者）	・年々、お茶のギフト関連の需要が少なくなってきている。今月後半は大雪と寒波で来客数が減少しており、売上も低迷している。
	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・保守メンテナンスの有料が常識だった時代から、徐々に無償化が進んでしまうと、業者のサービスの有無も問われ、ひいては共倒れの時代が押し寄せてくるのではないかと。
	百貨店（営業担当）	・小売業にとって、円安と原油高は大きな要因であるが、どちらも消費においては良い方向には向かっていない。寒さによる野菜の高騰やガソリンや灯油などの急激な高騰が家計を圧迫していくのは明らかであろう。円安によって洋服の物価も2割程度上がる予測もあり、景気が良くなるとはいえない。
	コンビニ（経営者）	・当店の個別の要因もあるが、全体的にあまり良い材料が見当たらない。
	コンビニ（経営者）	・気象庁の予測によると、今年はスギ花粉が大変多いということで心配している。スギ花粉が多いと、やはり客が外出する機会も減り、そのため来客数も減る。そういった点から、来客数の増加はなかなか見込めないため、やや悪くなる。
	コンビニ（経営者）	・不安である。
	衣料品専門店（店長）	・インフレ誘導政策が現実味を帯びてきており、給与が上がらないうちに物価が上がると思われていることや、まだ体力が回復していないうちは買い控えが続く。
	衣料品専門店（営業担当）	・今年の寒さが長引くと、いくら暦の上では春でも春物の実売期間は短くなり、すぐにバーゲン価格になってしまう。年々、春と秋がなくなってきており、メーカーも春物、秋物というのは薄く作っている。夏物と冬物だけをしっかりと売れるような形でメーカーが作り込みをしているため、大変厳しい状況になると思う。
	乗用車販売店（渉外担当）	・エコカー補助金終了の影響もあり前年比10%落ちている。2015年10月より取得税撤廃が税制大綱に組み込まれ、消費者にとっては喜ばしいニュースであると業界として捉えたい。ただし、現在も環境対応車の取得税、重量税免除や減税の車種が多数あり、細部の調整等課題は残されていると感じている。
	住関連専門店（統括）	・景気対策はまだ先になりそうなので、買い控えはもう少し続くのではないだろうか。
	その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・医薬品のインターネット販売開始により競争が激化するため、第1類医薬品の売上に影響する。
その他専門店〔雑貨〕（従業員）	・新店ができてあまり売上が伸びていない。	

		一般レストラン（スタッフ）	・客には景気は気だから良くなると言っているが、実際はさっぱりである。税金や原油価格など様々なものが上がり、回る前に負担ばかりが多くなりそうで不安である。
		旅行代理店（従業員）	・業界自体先細っていくような印象を受けるが、特に団体旅行を新規ではじめる会社や事業所は、ほぼないのではないかと。
		その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（支配人）	・消費税増税が決定したことを受け、今から消費が控えられている。今後1年はなかなか期待できない。
		設計事務所（所長）	・いずれにしても仕事が増えなければなかなか厳しい。国の施策もさることながら、これからは新築物件よりも耐震補強工事等がますます増えると思う。そのため民間にもどんどん補助を出してもらわないと仕事が増えない。
	悪くなる	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・大型店出店の規制がないため、近隣での出店計画が絶えず、オーバーストアが進むためである。
		一般小売店〔靴・履物〕（店長）	・車の減税などが言われているが、我々庶民の生活にはそれほどプラスにはならない。やはり消費税増税と、給料も春闘などを見ても上がらないということで、ますます悪くなるのではないだろうか。
		観光名所（職員）	・1月は年間でも2番目3番目に良い月である。2、3か月先は、観光地では真冬の時期を迎え、旅客がかなり減るため、悪くなる。
		住宅販売会社（経営者）	・景気対策を重点に置いた政権が政策を実行して、早くデフレから脱却し景気を良くすれば、自然と税収も増えるため、すべてうまくいくと思う。今のままでは景気が回復する見通しは立っていないが、新政権の政策には期待している。半年後ぐらいには状況が良いほうに変わってくるかもしれない。
企業 動向 関連 (南関東)	良くなる	金属製品製造業（経営者）	・製造業にとっては、円安が続くことで仕事が海外に流出せず、国内生産の可能性が高まるため、円安傾向が続けば量の確保ができる。また、政府の緩和策や景気刺激策が良い方向に行くことで国内景気に活気が出る。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・アベノミクスの影響で、良くなる。
	やや良くなる	食料品製造業（経営者）	・春は行事が多くあり、商品が動く時期のため良くなる。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・これという理由はないが、良くなるムードを感じ始めている。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・印鑑やゴム印、名刺印刷の仕事をしている。法人関係はやや良くなっているが、それ以上に店頭と通信販売の部門で、個人の需要が伸びてきている。季節に関係ない需要として、印鑑のリフォームや未彫刻の材料に彫ってほしいという、あまり差し迫って必要はないが作ってみようという客が増え出している。
		金属製品製造業（経営者）	・材料費の値上がりや当地域の生産工場が開発部門に変わるなどの要因もあるが、経済対策の継続的な実効性が期待できるため、やや良くなる。
		金属製品製造業（経営者）	・政権が変わって、得意先は年度末までの予算の消化をするため、注文が出てきた。2か月先くらいまでは忙しくなりそうである。
		電気機械器具製造業（経営者）	・円安と株価上昇により資金が回り始めるのではないかと。国の予算も施行されれば中小企業にも助成金や補助金が回り始め、今よりは良くなる。
		精密機械器具製造業（経営者）	・新政権下での期待感と、また、3月には回復してほしいという望みもある。賀詞交換会等で大手メーカーの話としても、春先からの話が出ている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・トラックが生産調整ということで、もっと悪くなるかと思ったが、この2、3か月、平均してそれほど悪くならず、そろそろ通常の生産に戻らと思う。また、やはり景気は気分であるため、内閣が変わったというだけで、また、円安などいろいろな要素が加わり、例年そうだが桜の咲くころには今より良くなっていると思う。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・新内閣に期待している。
		建設業（経営者）	・景気対策の早い実行を期待したい。
		建設業（経営者）	・消費税増税前の駆け込み需要のため、やや良くなる。
		建設業（営業担当）	・消費税増税に伴い、増税時期前の年内発注へ向け年始より新規案件が増えてきている。また企業への減税措置も出ているため客が今後の動向に興味を示している。
		建設業（経理担当）	・予算は相変わらず厳しそうであるが、民間の工事案件が数件見えてきた。また、消費税増税前の駆け込み需要もあるだろう。多少は景気が良くなる。

輸送業（経営者）	・2、3か月先は年度末決算になるため、その時点では景気の動向が少しは上がってくると思い、期待を込めてやや良くなる。	
輸送業（経営者）	・昨年末よりコンビニの出店増が目立ってきており、取扱量の増加が期待できる。また、併せて新学期に向けての業量増が見込まれるため、やや良くなる。	
輸送業（経営者）	・荷主からの良くなるという話を信じて、また、そうなってもらいたいという願いで、やや良くなる。	
輸送業（総務担当）	・出荷は年度末に掛け増加の傾向にあるが、東北方面への配送は車両が足りない状態である。今までの運送費では、東北方面の帰り車が集まらない状態である。自車で配送すると当地域を含めて、車両の絶対数不足が続く。	
通信業（広報担当）	・経済対策や円高の修正により、IT投資も増えると考えられる。	
金融業（統括）	・期末の季節的要因と、円安、株高による貿易関係、産業関係の発注が増える。	
金融業（役員）	・新政権の経済政策に対する期待感から、経営者の気持ちが前向きになってきている。参議院選挙がある7月までは、この傾向が続くだろう。	
金融業（支店長）	・相場の動きに行き過ぎ感はあるものの、新政権がやろうとしていることへの期待感はある。この上り調子がしばらく続くのではないかと。	
不動産業（従業員）	・企業からの工場、事務所用地等の受注が増えている。しかし、土地そのものの供給はやや不足している。	
不動産業（総務担当）	・テナントからの引き合いが多くなっていることと、賃料の低下傾向にやや歯止めが掛かっていることも実感としてある。期待含みだが、この先、景気はやや回復する。	
広告代理店（営業担当）	・円安、株価の動き、新政権の本格的な経済改革始動による期待感が、各クライアントから聞かれるためである。	
税理士	・急激なインフレや賃金アップにはつながらないが、景気の上向き感がある。	
経営コンサルタント	・新政権への期待の声があるため、やや良くなる。	
税理士	・日本としては、北米での自動車など日本製品の売上、また、中国を始めとする新興国への日本製品の輸出がある。北米があまり良くないとしても、中国や新興国でどんどん売っており、そのことで日本は持っていることもある。もうひとつは国内から起こってくる。旧政権の時も最悪だったが、今、新政権になってばらまきかもしれず、その反動があるかもしれないが、いろいろなことを宣言してやっているため、政治から景気が良くなっていくという芽が出てきているのではないかと思う。	
その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・政権交代の期待感からか、各取引先工場の稼働率も上がってきているように感じられる。	
その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・株価の上昇により、個人株主や企業に余裕が出てくる。	
変わらない	食料品製造業（経営者）	・まず中央が景気回復で動き、それから現場にくると思う。2、3か月後はまだ変わらない。
	繊維工業（従業員）	・新政権が打ち出す経済再生策で円安が進み、海外生産のメリットが希薄になることによって、衣料品の国内回帰に期待するが、それにも時間が掛かることが予想される。
	出版・印刷・同関連産業（所長）	・年度明けの引き合いで、若干のプラス要素もある。何とか1～2月前半の穴埋めをと考えている。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・見積依頼の件数増加は、一時的または一過性なところもあるため、2～3か月様子を見ないと何ともいえない。
	化学工業（従業員）	・景気回復の期待感はあるが、具体的な需要や計画がなく、良くなるのか悪くなるのか判断できない。
	プラスチック製品製造業（経営者）	・景気の底入れ感はあるが、新企画の話があっても実現性は薄く、本格的な回復にはまだまだ時間が掛かりそうである。
	プラスチック製品製造業（経営者）	・3か月程度では新しい予算の執行等、動きはまだ出てこないと思う。そのため、景気は良くならない。
	一般機械器具製造業（経営者）	・現状では見積を頼みたいという話も少なく、見積依頼があっても小ロットのものしかない。それが取れても状況が非常に良くなるというようなものはない。大ロットは皆外国へ行ってしまう、少しぐらい円が安くなっても状況は変わらない。
	一般機械器具製造業（経営者）	・売上がこのところ全く伸びず、横ばいの状態が続いているため、変わらない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・経済対策をいろいろ打っているが、現実に実行され零細企業まで及ぶには、まだまだ時間が掛かると思う。すぐ良くなるとは考えられない。

	その他製造業〔靴〕 (経営者)	・大きくは変わらないと思うが、当社は技術の会社であるため、良いものは残ると考えている。現に中国産などで品質が落ちるといった状況のなかで、メイドインジャパンの格が上がってきているような気がする。
	金融業(従業員)	・今年の景気見通しについては、多くの業種で悪いと回答している。消費税率引上げ等の懸念材料も多いが、まずは足元の円安、株高によって、中小企業の景況感が改善されることを期待したい。
	金融業(渉外・預金担当)	・政治改革による期待度は高いが、短期での効果は見込めず、現状でも動きはみられない。
	不動産業(経営者)	・マンション19戸のうち11戸が契約になったが、残り8戸の契約にどのくらい掛かるだろうか。好転を念ずるのみである。
	広告代理店(従業員)	・新政権になり景気回復がささやかれているが、すぐには反映してこないと思う。
	広告代理店(従業員)	・売上、受注予定など、特に変化はみられない。
	社会保険労務士	・良くなる要素が見当たらない。
	経営コンサルタント	・4月から新年度に入る中小企業各社の来年度計画の策定が始まった。政権交代により期待が高まっていることは、売上の予想数値からもうかがえる。ただし、それは半年程先のことであり、2～3か月では変わらないと読んでいる経営者が多い。
	経営コンサルタント	・円安が輸入に影響している。輸入原材料の価格騰貴が先行しつつあり、中小企業にとって、支出高が先にくることとなる。
	その他サービス業〔映像制作〕(経営者)	・気分的な景気回復はみられるが、映像や広告の業界では期待のみで、具体的に何か新しい動きがあるような見通しは今のところない。
	その他サービス業〔情報サービス〕(従業員)	・スマートフォンの利用者数増加に伴い、インターネットはスマートフォンで用が足りるというユーザーが増えてきており、自宅への光回線開通数が低迷してきている。この傾向はしばらく継続する。
	やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業(総務担当)
		輸送業(営業担当)
		金融業(支店長)
		その他サービス業〔警備〕(経営者)
	悪くなる	建設業(経営者)
		広告代理店(経営者)
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕(経営者)
雇用 関連	良くなる	民間職業紹介機関(経営者)
(南関東)	やや良くなる	人材派遣会社(社員)
		人材派遣会社(社員)
		人材派遣会社(支店長)
		人材派遣会社(営業担当)
		人材派遣会社(営業担当)
		求人情報誌製作会社(編集者)
		求人情報誌製作会社(営業担当)
		求人情報誌製作会社(営業担当)

	求人情報誌製作会社 (営業担当)	・春先に向けて、少しながら需要拡大が見込めそうである。
	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・年度替わりということで、この間に相当数の募集が出るといふ。現在、予約ももらっているため、多少の盛り上がりはあると期待している。
	職業安定所(職員)	・政府の緊急雇用対策等を受け、その関連で求人が出てくると思う。常的な求人でないとしても、そのことによって求人が出れば、それに関連した会社からも求人は出て、やや良くなるのではないか。求人が数か月前に比べて増えており、それによって更に輪を掛けて増えていくだろうと思う。
	民間職業紹介機関(経営者)	・国内景気の回復が徐々に期待できそうであることを明るい材料として、人材の採用にも積極的な影響が出てくることを期待する。
変わらない	人材派遣会社(社員)	・経営者の多くは新政権になったことを非常に喜んでいる。特に公共事業に期待しているが、まだ具体的なことが決まっていなため、景気が回復するのはしばらく先だろうという意見が多い。また、円安になってきたため、円安で困る業態は、燃料費などいろいろなものが現状より悪くなるのではないかと非常に心配している。
	人材派遣会社(営業担当)	・雇用形態と雇用数の改善が見込まれるほどではない。
	人材派遣会社(支店長)	・新政権による政策効果はまだ先となりそうであり、人材のニーズは当面冷え込みそうである。
	求人情報誌製作会社 (広報担当)	・政権交代で、補正予算の恩恵にあずかる企業も多いようだが、当業界ではあまり関係がない。景気が確実に上向けば良い見通しもできるのだろうが、現状ではあまり良い要素がない。
	職業安定所(所長)	・地方の中堅製造業における破産、人員整理等が一部にあり、また、新規求人数の伸びも鈍化している。一方、政府の景気刺激策は当座の効果はあると思われることから、結果として変わらない。
	職業安定所(職員)	・新規採用の様子見している中小企業も多い。
	職業安定所(職員)	・求人件数については、このところ横ばいが続いており、緩やかに上昇することは考えられるが、景気そのものは横ばいと判断した。
	職業安定所(職員)	・採用者数が減っている状態で、変化がない。
	民間職業紹介機関(職員)	・政権交代による様々な施策への期待により、心理的には上向いている気がする。採用数、求人数等にまだ変化は見られないが、実態経済としては数値は落ちており、今後が予測しにくい。
	民間職業紹介機関(職員)	・求人数の動きに、変化が感じられない。
	学校〔短期大学〕(就職担当)	・次年度の求人について、実績先へ求人依頼をしているが、ほとんどまだ25年度採用は未定であるという話が多い。
	学校〔専修学校〕(就職担当)	・次年度の採用計画調査状況から、採用復活や採用数増員等の企業は少なく、おおむね前年度ベースで大きな変化はない。
やや悪くなる	職業安定所(職員)	・管内複数の企業からリストラを計画している情報が寄せられているほか、月末になり管内企業の倒産情報もたらされ対応中である。さらに、減少傾向から増加に転じる兆候がある求職者数が、本格的に増加する懸念がある。
悪くなる	—	—